

# アカゲラ通信

2018年4月号  
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



## レストハウス 4月28日土曜日オープン！

冬期間休業していた旭山記念公園レストハウス、今年は4月28日土曜日オープンとなります。今年も、ソフトクリームや焼きそばなど軽食類をご用意して皆様のお越しをお待ちしております。噴水も同じく4月28日の運転開始を予定しております。

### 夏鳥が来たというけれど「夏鳥」って

春が本格化し、夏鳥がやって来る4月から5月は野鳥観察のハイシーズン。

今回はこの「夏鳥」について、ちょっとだけ考えてみます。

#### ★夏鳥(なつどり)

北海道で見られる時期:春から秋

春に南から北海道に渡って来て繁殖し、秋に南に渡って南の地で越冬する鳥。

キビタキ、コサメビタキ、オオルリ、コルリ、  
クロツグミ、ヤブサメ、センダイムシクイ



写真上：キビタキ 右上：ルリビタキ  
右下：メジロと桜（3月東京にて撮影）

#### ★北海道では「夏鳥」だけど本州では「留鳥」

ウグイス、メジロ、キセキレイ、キジバトなどは本州以南では1年中見られる「留鳥」です。

北海道の冬は耐えられないので秋に南に渡り、餌が豊富な夏にむけて春に北海道に渡ってきて子育てをするのですが、同じ種でも地域により行動が違うこともあります。

#### ★夏鳥だけど旭山では春と秋だけ見られる鳥

北海道に夏鳥としてやって来る鳥のうち、山地（高山）など他の環境で繁殖するものが、旭山では春と（か）秋に短期間だけ一時的に見られる鳥がいます。

ルリビタキ、サメビタキ、コマドリ、クロジ、エゾムシクイ、ビンズイ、ベニマシコ（草原・湿原・河川敷で繁殖）、ノゴマ（同）、ノビタキ（同）といった鳥たちです。

上に挙げた鳥は毎年同じように現れますぐ、マミジロやジュウイチのように年により旭山に来たり来なかつたりという鳥も中にはいます。

#### ★「旅鳥」もいる春の旭山

同様に旭山では春と秋の短期間だけ見られる鳥のうち、マミチャジナイ、シロハラ、カシラダカは、北海道より南で越冬し北海道より北で繁殖するものが、移動の途中で短期間立ち寄るという鳥です。

このような鳥を「旅鳥」（たびどり）と称しますが、これらの鳥は夏に北海道中を探しても見つかりません。

#### ★時々見られる「夏鳥」

アカハラ、イワツバメ、アマツバメ、ハリオアマツバメは夏鳥として札幌に滞在し、旭山では時々見られます。

### 今年の旭山の桜は

今年の札幌の桜開花予想日、ウェザーニュース発表では4月27日、

ウェザーマップ発表では4月30日。

今年もゴールデンウィーク中が見頃となりそうです。

右の写真は昨年5月3日に撮影した旭山の桜です。



### 4月の野鳥観察会

●「旭山野鳥観察会」4月は2回行います。4月14日（土）、4月29日（日）です。

朝8時 参加費100円（保険代として）、双眼鏡無料貸出、小雨小雪決行です。

※「森の家」集合、事前予約等「森の家」までご連絡ください。

なお、お申し込みの際には14日（土）か29日（日）のいずれをご希望かをお伝えください（両日とも可）。

みなさまのご参加をお待ちしております！ ~5月には「早朝野鳥観察会」も予定しています~

# 2018年4月の旭山野鳥情報

夏鳥が続々到来、一方で冬の鳥もまだ見られるのがこの時期です。

★ルリビタキ=4月8日今年初めて観察されました。例年5月上旬まで旭山で見られます。

★ホオジロ=4月1日今年初認。展望台やその周りの木で囀りをしたり地面に降りて餌を探っています

★キジバト=3月24日今年初認。今の時期は「デデーポー・ポッ」という声がよく聞かれます。

★ヤマシギ:3月31日今年初認。笹藪の道を歩いていると足元から突然大きな羽音とともに飛び去ります。

★キセキレイ=4月1日今年初認。第2駐車場周辺でよく見かけます。

★イカル:4月1日今年初認。「月日星ホイホイホイ」とよく通るきれいな声で囀ります。

★カワラヒワ=3月11日今年初認。カワラヒワはかつて越冬していた年もありましたが最近は冬に見られなくなり、ここでも夏鳥扱いしました。※夏鳥のアオジ、ウグイスは中旬、メジロは下旬に来ると思われます。

## ◎冬に見られる鳥

★イスカ=3月下旬から数羽の群れが旭山周辺に滞在しています。

★ウソ=3月下旬に囀り、春先は近くでの観察機会が増えます。

★シメ:数羽の群れがよく見られ地面で餌を探していることもあります。

★マヒワ=鳴きながら飛んだり地面で餌を探る姿がよく見られます。

★ツグミ=今年は移動が早いのかも見られなくなりました。

★キクイタダキ=観察情報が減り、そろそろ旭山では見られなくなります。

★キバシリ=都市環境林で4月中旬くらいまではまだ見られそうです。

★カケス:4月に入ってからあまり見られなくなりました。



森の散策ではヤマシギが突然飛び出して来るのでご注意を。

## ◎シマエナガ情報

3月下旬以降つがいで行動し、巣材を運ぶ姿も観察されました。4月はまだ見る機会があり、最近では森の家周辺と風の丘からつり橋にかけての辺りに比較的よく出てきています。

## ◎1年中見られる鳥

★クマゲラ=園内での観察情報が時折ありますが今年は少ないです。

★オオアカゲラ=3月下旬から観察情報が減ぞろぞろ見られなくなりそうです。

★アカゲラ=ドラミングを始めておりそろそろ雄同士のケンカも始まる頃です。

★コゲラ=「ギーツ」という声がよく聞かれ姿も見られます。

★ゴジュウカラ=囀り「フィーフィー」「フィッフィ」 ★シジュウカラ=囀り「ツーピーツーピー」

★ハシブトガラ=囀り「ピィピィピィ」 ★ヤマガラ=「チーリーツー」と3拍子。

★ヒガラ=囀り「ツピツーツピツー」 ★ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス=よく見られます。



## 春を実感する話題を短く

・今年も4月早々ナニワズの花が開花しました。右写真が今年のナニワズ。

珍しい植物ではないですが、旭山では1カ所でしか確認されていません。

・ふきのとうも4月に入り増えてきました。

・都市環境林の池ではエゾサンショウウオが4月上旬に産卵しました。

昨年は4月10日過ぎに産卵確認しており、今年は10日以上早いです。

・エゾアカガエルの産卵は例年20日過ぎですが、今年は早いかもしれません。



## 編集後記

その昔、多くの家にカメラのフィルムを入れる円筒形のケースがありました。

そのケースは植物の種子などを拾って持ち運ぶのにちょうどいい形と大きさ。

しかしフィルムで写真を撮ることがなくなり、ケースも手に入りにくくなりました。

自然がお好きな人、フィルムケースがあつたらとっておくことをお薦めします。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第52号 2018(平成30)年4月8日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>